

地域の安全・安心な生活の確保や観光振興に寄与するバイパス道路の開通

- ・3次救急医療施設へのアクセス性の向上
- ・落石事故等の多発地帯を迂回させ、異常気象時等の通行の安全性を向上
- ・四国霊場札所等の観光施設へのアクセス性の向上



◎概要

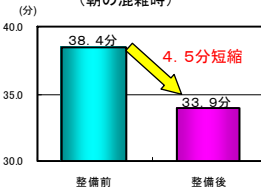
主要地方道神山鮎喰線は、国道192号と国道438号を結ぶ延長19kmの幹線道路であり、地域の生活・産業を支えているだけでなく、沿線には四国霊場12番札所「焼山寺」、13番札所「大日寺」があることから札所巡りの廻路コースとして、さらには、国道を補完しつつ県土の東西を広域的に結ぶ、地域の社会・経済活動に欠くことのできない幹線道路である。このうち、今回の事業区間(現道2.1km)は、交通量が多くバス路線でもあるが、幅員が狭小で線形も悪いため、路線バスや大型観光バス等が通行する際には、車両が停滞する交通の隘路となっていた。



◎所要時間の短縮



【神山町役場～上鮎喰橋東詰間の所要時間(朝の混雑時)】



- 救急活動に従事している方に意見を伺いました
- バイパス整備により時間短縮が図れ、渋滞も解消されたため、搬送予定時間との誤差が小さくなりました。
- 救命活動だけでなく、消火活動や、災害時の避難・物資搬送ルートとしても大きな効果を発揮していくものと期待しています。

幅員狭小部における渋滞の解消

◎安全性の向上



- バイパスを利用している方に意見を伺いました
- 現道は日陰で冬場は路面が凍結するとなかなか溶けず危険でした。バイパスはトンネルと日当たりの良い橋梁であり、凍結防止対策も十分行われているため、安心して走行できます。
- 台風や大雨の際には、落石や土砂崩れが心配でした。バイパスの整備により、災害や通行止めの不安がなくなりました。
- 旧道はバス等の大型車とのすれ違いの際にいつも危険を感じていましたが、バイパス開通後は安心して通行できるようになりました。

冬季や異常気象時等における通行の安全の確保